

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月09日

計画の名称	大宮駅周辺地区都市再生整備計画												
計画の期間	平成28年度～令和02年度(5年間)							重点配分対象の該当	○				
交付対象	さいたま市												
計画の目標	高次都市機能の集積を通じた、おもてなしがあふれる東日本の交流拠点都市の創出 目標1：高次都市機能の集積と回遊性のある賑わいの創出 目標2：ハード・ソフトの連動による低炭素まちづくりの推進 目標3：駅周辺地域における総合的な都市防災力の強化												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	24,503	A	24,503	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27		R2
1	駅周辺地区における回遊性・賑わいへの住民満足度を40%(H27年度)から66%(R2年度)に向上させる。 地区住民に対するアンケート調査で、駅周辺の賑わい、徒歩による移動のしやすさについて「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合	40%	%	66%
2	駅周辺地区における低炭素まちづくりへの住民満足度を5%(H27年度)から51%(R2年度)に向上させる。 地区住民に対するアンケート調査で、駅周辺の地球温暖化対策について「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合	5%	%	51%
3	駅周辺地区における帰宅困難者収容人数を3,070人(H27年度)から4,170人(R2年度)に増加させる。 地区内の帰宅困難者一時滞在施設に位置付けられた施設の最大収容人数の合計値	3070人	人	4170人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	R02					
一体的に実施することにより期待される効果 備考																					
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	さいたま市	間接	市街地再開 発組合	—	—	大宮駅東口大門町2丁目 中地区第一種市街地再開 発事業	再開発A=1.4ha	さいたま市		■	■	■	■	19,334		—		
												小計						19,334			
都市再生整備計画事業	A10-002	都市再生	一般	さいたま市	直接	さいたま市	—	—	大宮駅周辺地区都市再生 整備計画事業	都市再生A=約130ha	さいたま市	■	■	■	■	■	5,169		—		
												小計						5,169			
											合計						24,503				

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>都市局まちづくり推進部市街地整備課にて作成</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和3年1月</p>	
	<p>公表の方法</p> <p>さいたま市ホームページにて公表</p>	

○事業効果の発現状況

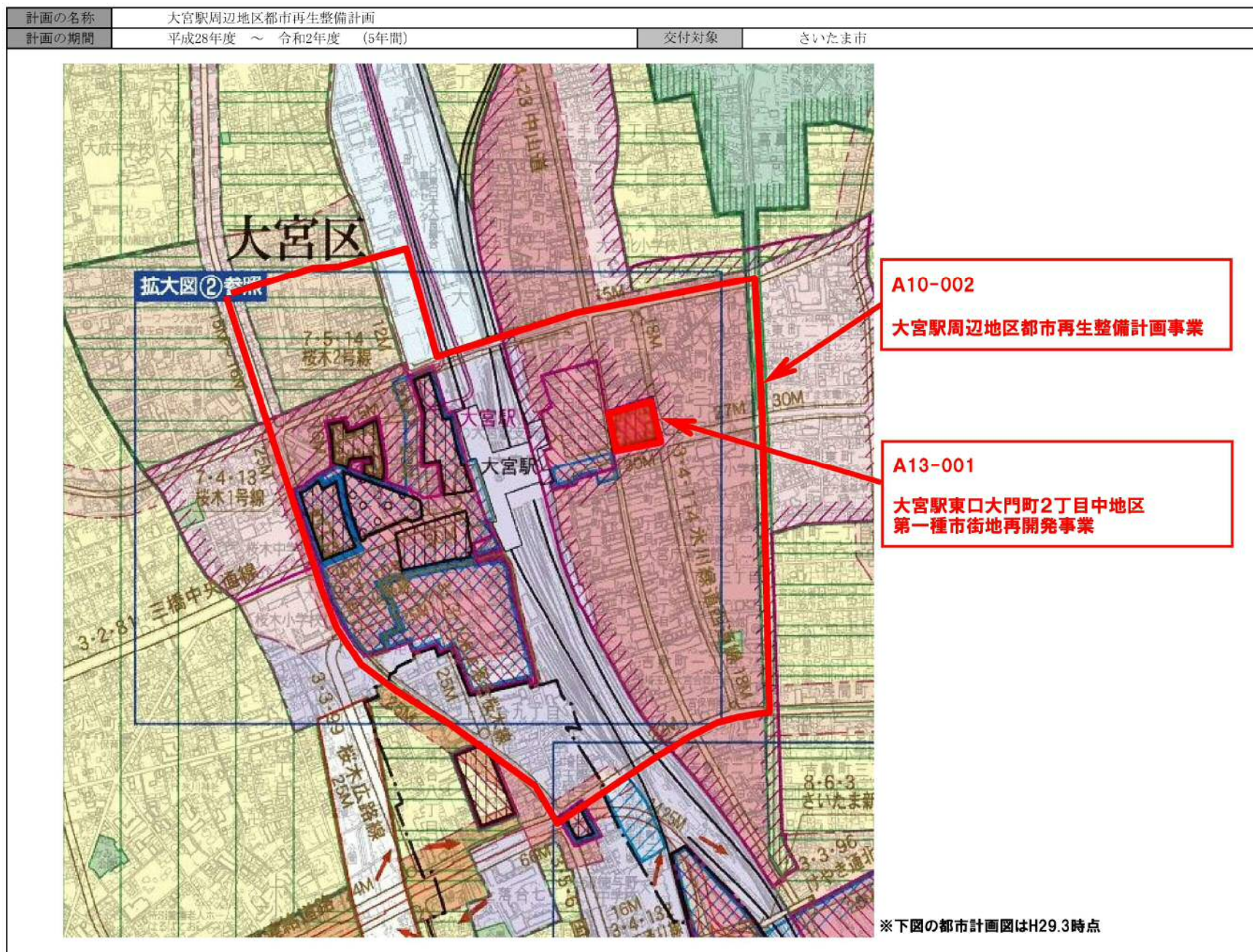
<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮区役所新庁舎や、大宮図書館等による建築物、氷川緑道西通線（南区間）等の整備により、回遊性や賑わいの創出を図っているが、新型コロナウイルス（COVID-19）の流行が賑わいに影響を与えたため、目標値に及ばなかった。 ・大宮区役所新庁舎や、氷川緑道西通線（南区間）の事業完了により、低炭素まちづくりを感じる市民の割合は増加傾向にあるものの、目標値に及ばなかった。 ・事業の進捗遅延により、帰宅困難者収容人数は目標に及ばなかった。
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮区役所新庁舎、図書館等が合築したことにより、多様な世代が集まり、賑わいのある空間が創出された。 ・都市計画道路氷川緑道西通線（南区間）の整備により、自動車の相互交通が可能となり、交通利便性が向上した。また、歩行者空間の拡充や、自転車レーンの設置により、安全性が向上した。 ・都市計画道路氷川緑道西通線での社会実験により、まちに賑わいが創出された。 ・氷川参道歩行者専用化（中区間）により、大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区の歩行者の安全性が向上した。

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・大宮のポテンシャルを活かしたまちづくりとして、市街地再開発事業により、帰宅困難者収容可能施設としての利用や、ビジネス空間の創出を図る。 ・まちづくり基盤や移動環境の充実を図るため、道路事業の推進を促し、観光箇所へのアクセスや、市街地再開発事業に対応した整備を図る。
--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	66%	<p>地区住民に対するアンケート調査で、駅周辺の賑わい、徒歩による移動のしやすさについて「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合</p> <p>・整備された杜の広場等は地域の人々が集まる賑わいのある空間となっていたが、アンケート調査を行った時期には新型コロナウイルス（COVID-19）の流行により広場の利用が中止され、外出制限により歩行者が減少したことから賑わいへの印象も悪化したと考えられ、賑わいへの満足度としては従前値を下回る結果となった。</p>
	最終実績値	26%	
2	最終目標値	51%	<p>地区住民に対するアンケート調査で、駅周辺の地球温暖化対策について「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合</p> <p>・環境に配慮された大宮区役所新庁舎や、歩行者、自転車空間が確保された氷川緑道西通線（南区間）の整備により、低炭素まちづくりの満足度は従前値より向上している。しかし、交通の円滑化につながる氷川緑道西通線（北区間）や一の宮通り、環境に配慮された市街地再開発事業等が完成しておらず、低炭素化に効果的な超小型モビリティが導入されていないこと等により、想定した満足度の向上が得られなかった。</p>
	最終実績値	34%	
3	地区内の帰宅困難者一時滞在施設に位置付けられた施設の最大収容人数の合計値		
	最終目標値	4170人	<p>・大宮図書館の竣工により、帰宅困難者収容人数は増加したが、大きな効果が期待された大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業が竣工していないため、目標を達成できていない。</p>
最終実績値	3420人		

参考図面（社会資本整備総合交付金）



事前評価チェックシート

計画の名称： 大宮駅周辺地区都市再生整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等	
I. 目標の妥当性 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

事前評価	チェック欄
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
III. 計画の実現可能性	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性	
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○